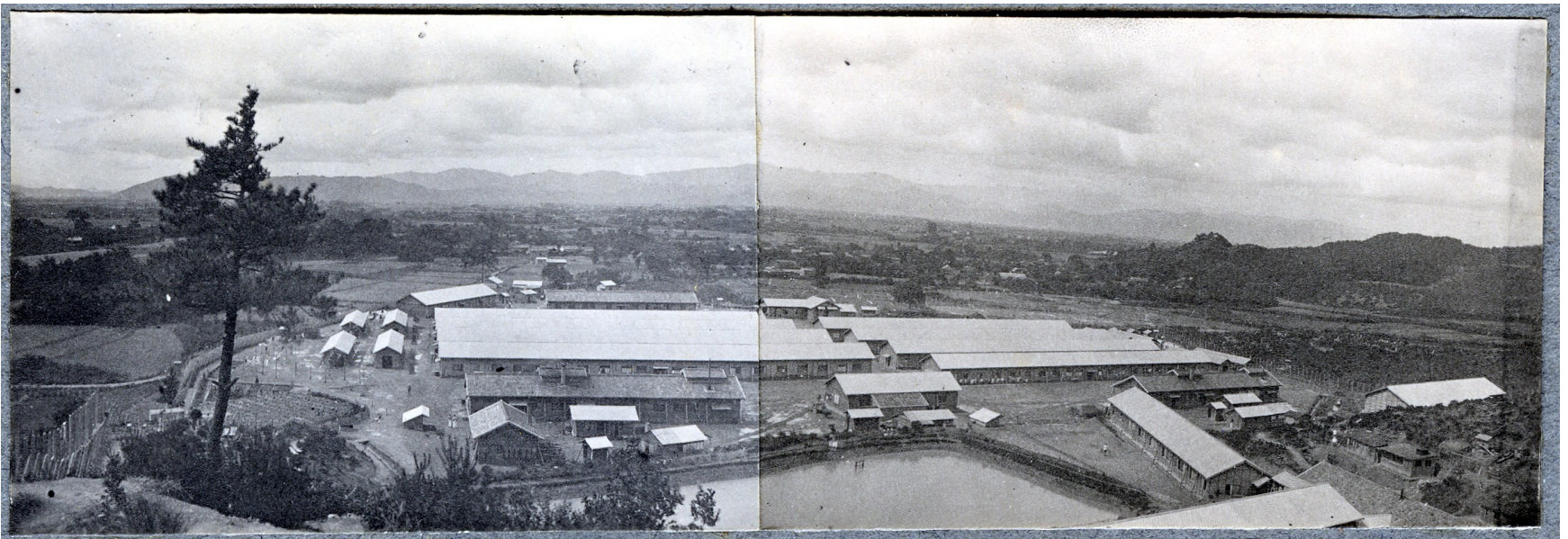


The Bandou prisoner-of-war camp on the internet

(<http://bando.dijtokyo.org>)



Ursula Flache

Staatsbibliothek zu Berlin

- ◆ ホーム
- ▶ バーチャル展覧会
- ▶ 雑誌
- ▶ 分類
- ◆ 収容所
- ◆ 人物
- ◆ キーワード
- ◆ 項目別キーワード

DIJ板東コレクションの所蔵検索・バーチャル展覧会

青島陥落後にドイツ人兵俘虜を収容(1917-1920)した板東俘虜収容所は、日独関係の発展と促進に重要な役割を果たしました。日本人所長の理解により、俘虜たちは収容所内で活気に満ちた文化的な生活を可能にし、手工芸展示会および数多くの演劇やコンサートの上演によってドイツ文化を開花させました。



もっともよく知られている例は、ベートーベンの「交響曲第九番」が、1918年に収容所オーケストラにより日本で初めて演奏されたことです。日独間の交流は収容所閉鎖後も続き、とりわけドイツ人の多数が解放後も日本に留まりました。

このコレクションは、「日本におけるドイツ年 2005/2006」の一環として、ドイツ語と日本語の両言語により、初めて一般に公開されます。



資料提供・協力者、著作権について
制作スタッフ

DIJ 図書室は板東のオリジナル資料、さらに久留米、丸亀、習志野そして徳島の文献からなる総数約5600点におよぶコレクションを所有しています。コレクションには収容所内の印刷所で印刷された新聞、小冊子、地図、講演原稿、演劇・コンサートのプログラム、パンフレット、写真などがあります。これらの資料は日独関係にとって大切な一次史料であり、収容所生活の包括的な印象を伝えるものです。



板東コレクションの所蔵検索は以下に行います

- それぞれの収容所、キーワードまたは人物の名前などで資料を検索することができます
- 画面上で、資料を一枚ずつめくることができます
- 自由に選んだキーワードでレコード全体を検索することができます
- デジタル化された資料の多くは、拡大鏡機能を使って見るすることができます

バーチャル・展覧会は以下のトピックを紹介します

- 居住用バラック、レストラン、多くの小屋が立ち並んでいたタバウタウという商店街など、板東収容所内の散歩がバーチャル・ツアーとしてできます
- 収容所劇場で上演された「女性のいない劇」を紹介します
- 音楽と体操の練習が、どのようにして地元日本人との交流の架け橋となったのかをご覧ください
- 1918年3月に開催された「美術工芸展覧会」において、誰が「収容所賞」を受賞したのかを知ることができます
- 板東俘虜収容所内におけるアイスクリーム・バー 入館の値段がわかります

Tsingtau und Umgebung.

Maßstab 1:20000

Auf den Bestand vom Herbst 1914 nach vorhandenen
Unterlagen und nach Angaben zusammengestellt.
Höhen und Tiefen sind in Metern angegeben.
Befestigungsanlagen sind rot eingezeichnet.

Erklärung.

Erklärung.

~~~~~ Schutzstellungen mit Masch. Gew.

~~~~~ Laufgräben mit Unterständen.

Bezeichnungen

Handbänken mit weißer Mauer u.
Palisaden.

B.H. Blockhäuser 0 bis 9.

H. Handbänke.

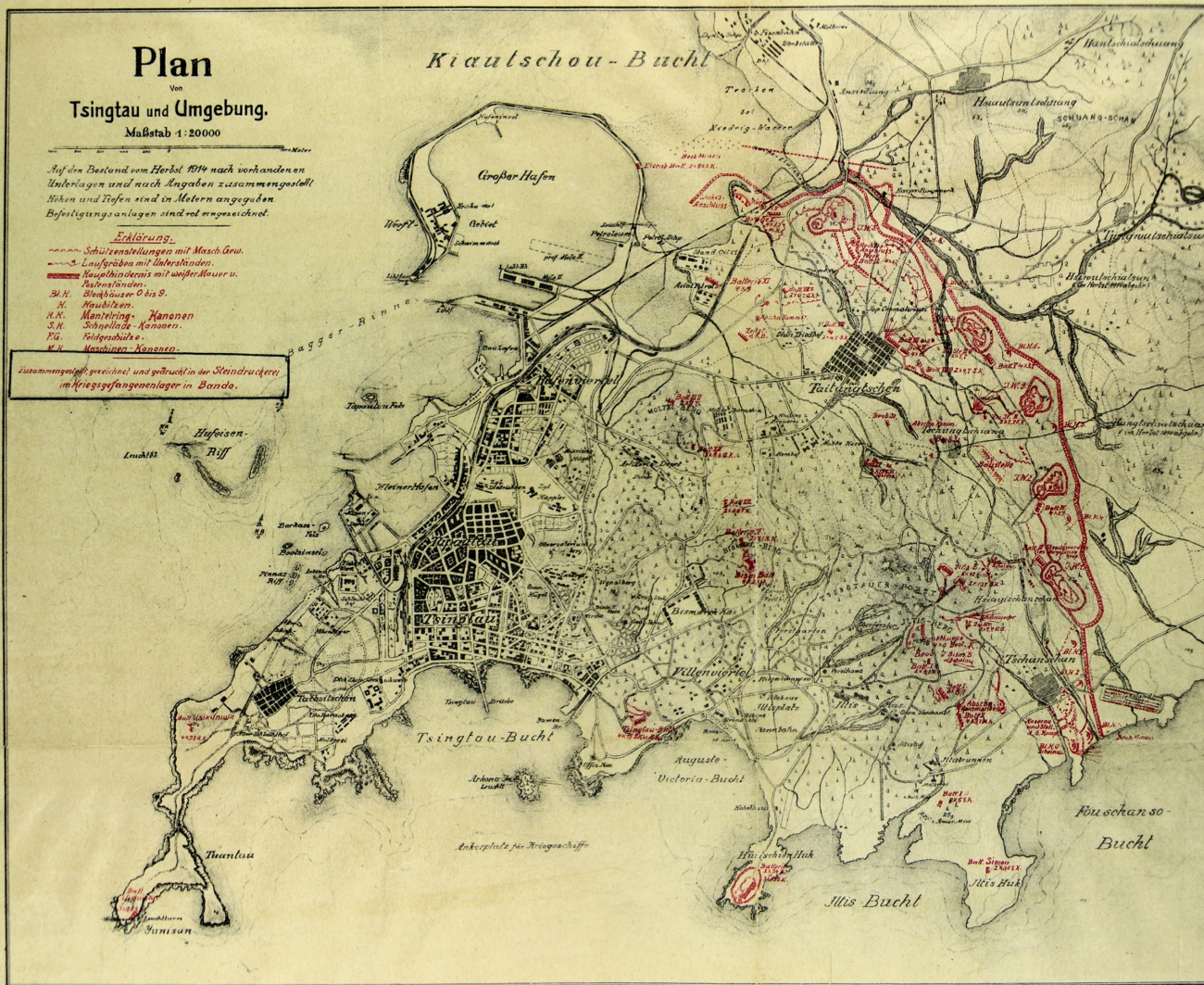
A.H. Mantelirg. Kanonen

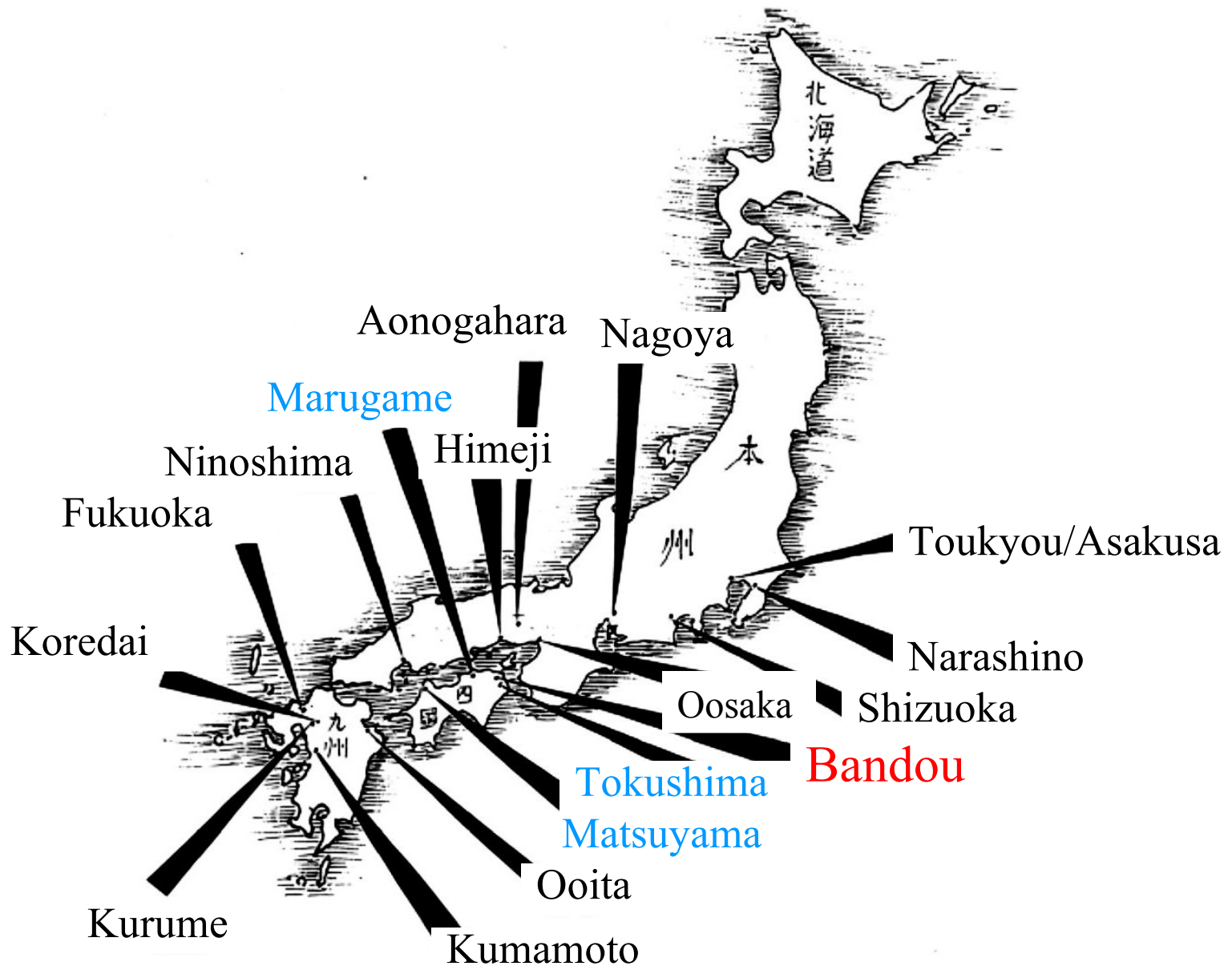
S.H. Schnellade-Kanonen.

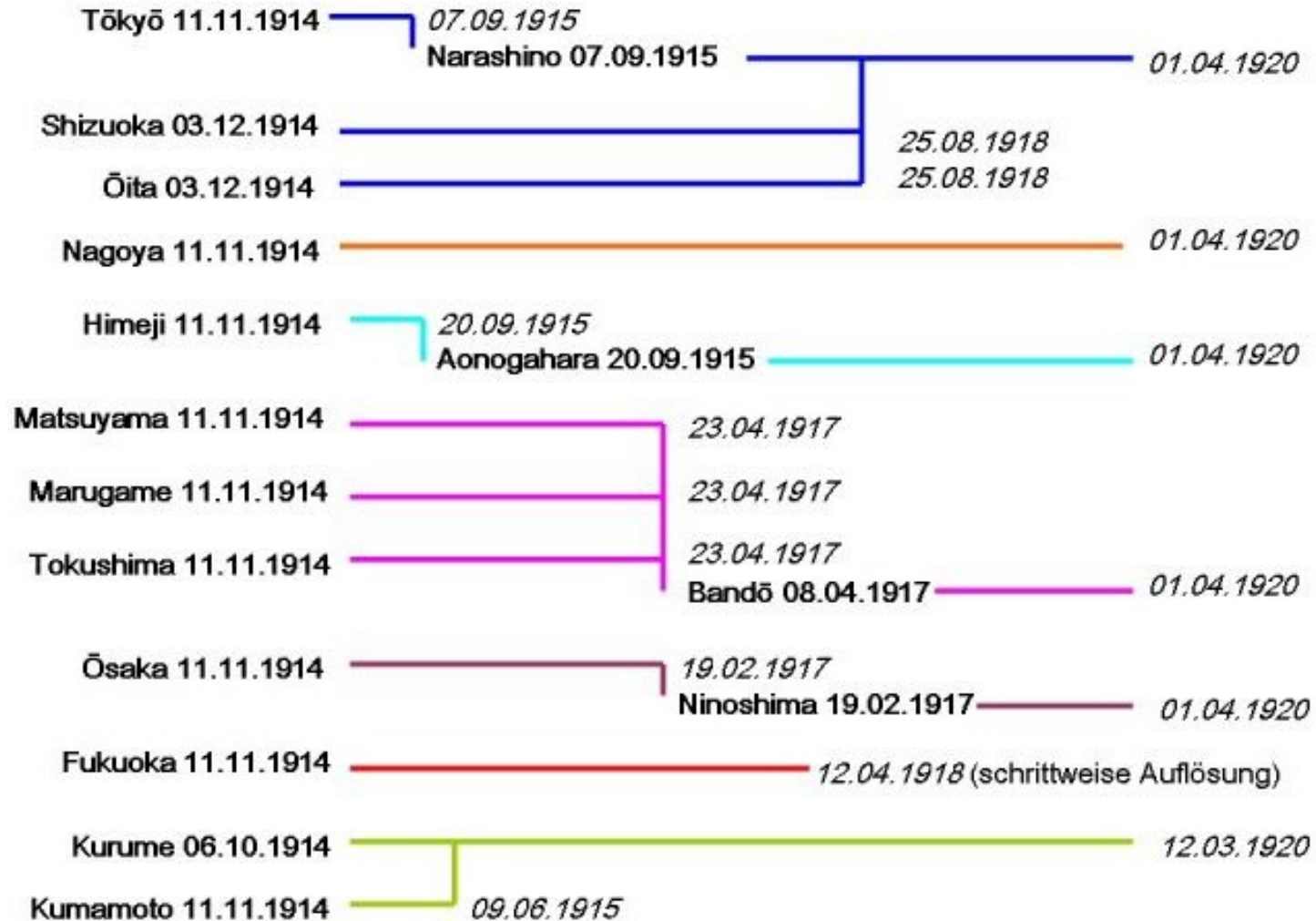
F.G. Feldgeschütze.

M.H. Maschinen-Kanonen.

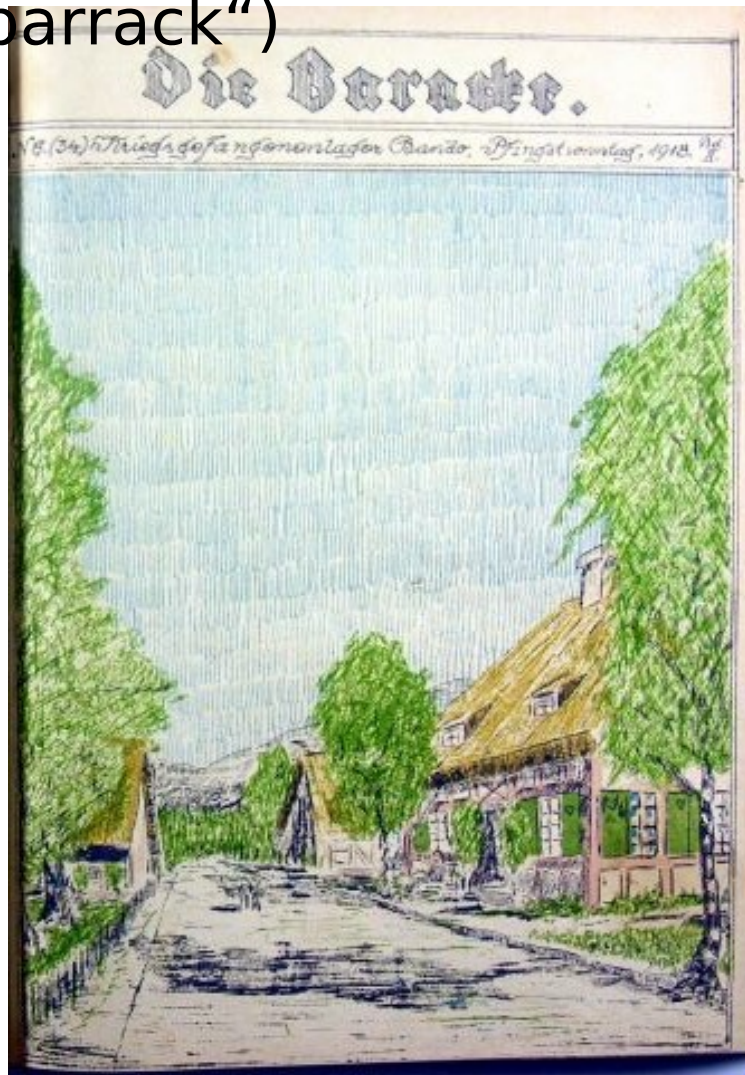
*Zusammengestellt, gezeichnet und gedruckt in der Steindruckerei
im Kriegsgefangenenlager in Bando.*







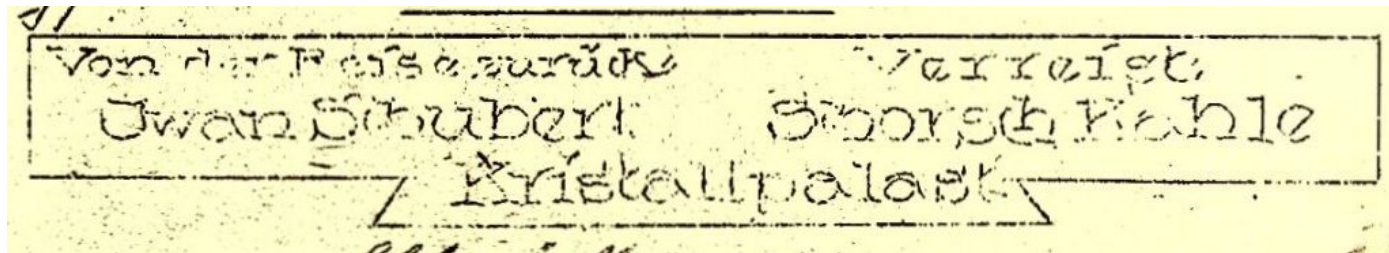
„Die Baracke“ („The barrack“)



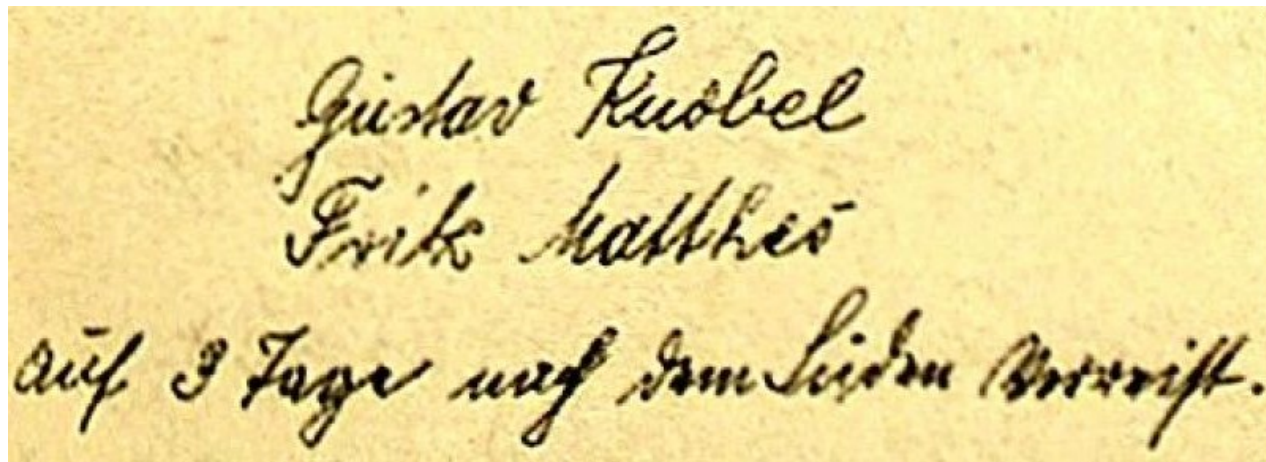
printing press



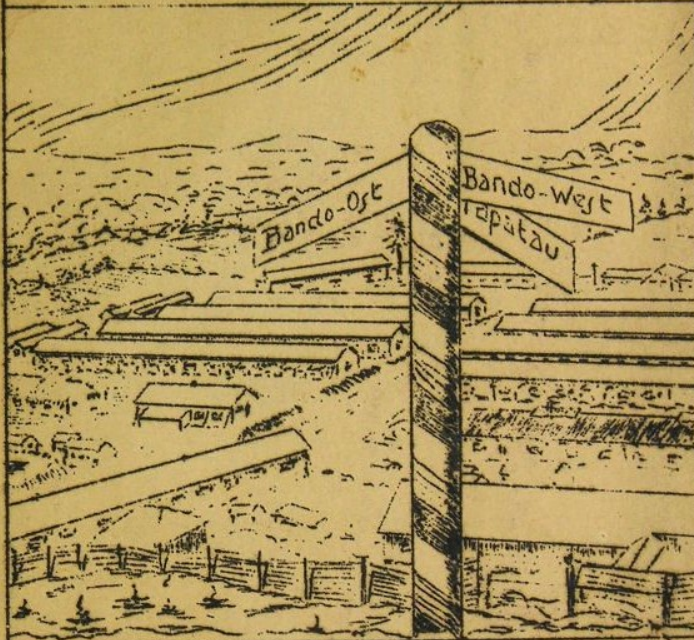
„Back from the journey, Ivan Schubert - now travelling, Schorsch Kahle, Crystal Palace“



„Gustav Knobel, Fritz Matthes are travelling to the south for 3 days“



**Fremden-
führer**
durch das Kriegsgefangenen-
lager Bando, Japan



Herausgegeben
von der Lager-
druckerei Bando
gelegentlich der
Ankunft der von
Kurume nach Bando verleg-
ten Kameraden. August 1918.

„Guide book
of the Bando
prisoner-of-
war camp,
Japan

Compiled by
the camp's
printing press
on the
occasion of
the arrival of
the comrades
transferred
from Kurume,
August 1918“

ホーム

▶ バーチャル展覧会

▶ 雑誌

▼ 分類

- ・ 本、講義のテキスト
- ・ 写真
- ・ 地図
- ・ 雑誌
- ・ 葉書・手紙・封筒
- ・ 演奏会のプログラム
- ・ 運動会のプログラム
- ・ 劇のプログラム
- ・ その他のプログラム
- ・ その他の資料

・ 収容所

- ・ 人物
- ・ キーワード
- ・ 項目別キーワード

browse the camp's
journals
browse by type of
material

青島陥落後にドイツ人兵俘虜を収容した板東俘虜収容所は、日独関係の役割を果たしました。日本人所長は収容所内で活気に満ちた文化し、手工芸展示会および数多くの公演によってドイツ文化を開花させま



もっともよく知られている例は、ベートーベンの「交響曲第九番」が、1918年に収容所において初めて演奏されたことです。日独鎖後も続き、とりわけドイツ人の留まりました。

browse by POW
camp

このコレクションは、「日本におけるドイツ年2005/2006」の一環として、ドイツ語と日本語の両言語により、初めて一般に公開されます。



資料提供・協力者、著作権について
制作スタッフ

関係にとって大切な一次史料であり、収容所生活の包括的な印象を伝えるものです。



行います

- ・ それぞれの収容所、キーワードまたは人物の名前などで資料を検索することができます
- ・ 画面上で、資料を一枚ずつめくることができます
- ・ 自由に選んだキーワードでレコード全体を検索することができます
- ・ デジタル化された資料の多くは、拡大鏡機能を使って見るすることができます

バーチャル・展覧会は以下のトピックを紹介します

- ・ 居住用バラック、レストラン、多くの小屋が立ち並んでいたタバウタウという商店街など、板東収容所内の散歩がバーチャル・ツアーとしてできます
- ・ 収容所劇場で上演された「女性のいない劇」を紹介します
- ・ 音楽と体操の練習が、どのようにして地元日本人との交流の架け橋となったのかをご覧ください
- ・ 1918年3月に開催された「美術工芸展覧会」において、誰が「収容所賞」を受賞したのかを知ることができます
- ・ 板東俘虜収容所内におけるアイスクリーマー人形の値段がわかります

- ホーム
- バーチャル展覧会
- 雑誌
- 分類
- 収容所
- 人物
- キーワード
- 項目別キーワード

収容所 >

大阪

[写真] [葉書・手紙・封筒] [収容所についてさらに詳しい情報]

概要



| | |
|--------|--|
| 収容のタイプ | バラック(兵舎) |
| 開設 | 大正3年(1914)11月11日 |
| 閉鎖 | 大正6年(1917)2月19日 |
| 俘虜数 | 開設時約490名、後に徳島収容所及び福岡収容所からの移送で増加。1917年に似ノ島収容所へ移転された |

「大正三四年戦役 俘虜写真帖」Vues photographiques concernant les prisonniers de guerre au Japon (Campagne de 1914-1916). 東京: 俘虜情報局, Bureau Impérial de Renseignements sur les Prisonniers de Guerre, 1918. 鳴門市ドイツ館所蔵、ネガティブ28-14A号

写真 ▲

[大阪: 収容所の様々な光景]

[大阪: スポーツの写真]

葉書・手紙・封筒 ▲

在横浜のL. テムメに宛てた、収容所郵便局の封筒の写真。消印は大阪俘虜収容所

大阪俘虜収容所のヘルマン・シュトレから、在グラウンテルムハウスの家族に宛てた絵はがき(写真:「大阪の梅田駅」)。日付は1916年11月1日

収容所についてさらに詳しい情報 ▲



- Home
- Virtuelle Ausstellung
- Zeitschriften
- Materialien
- Lager
- Personen
- Schlagworte
- Schlagwortgruppen

Personen

[A] [B] [C] [D] [E] [F] [G] [H] [I] [J] [K] [L] [M] [N] [O] [P] [Q] [R] [S] [T] [U] [V] [W] [X] [Y] [Z]

K

Kahle, Georg

Seesoldat, 6. Kompanie, III. Seebataillon (SB)

Kammerer, Ernst

Oberfunkentelegraphist der Reserve, 5. Kompanie, Matrosenartillerie-Abteilung Kiautschou (MAK)

Kampczyk, Rudolf

Matrosenartillerist, 4. Kompanie, Matrosenartillerie-Abteilung Kiautschou (MAK)

Kandulski, Karl

Matrosenartillerist, 4. Kompanie, Matrosenartillerie-Abteilung Kiautschou (MAK)

Karius, Friedrich

Festungsbau-Feldwebel, Fortifikation

Käsemann, Friedrich

Gefreiter, Landsturm

Katzorek, Alfred

Heizer, Großer Kreuzer "Gneisenau"

Kayser, Georg von

Major, Gouvernement

Keim, Eugen

Matrosenartillerist, 3. Kompanie, Matrosenartillerie-Abteilung Kiautschou (MAK)

Keller, Kurt

Marine-Zahlmeister-Aspirant, Matrosenartillerie-Abteilung Kiautschou (MAK)

Keller, Richard

Obermatrosenartillerist, 3. Kompanie, Matrosenartillerie-Abteilung Kiautschou (MAK)

Keller, Florian

Matrosenartillerist, 3. Kompanie, Matrosenartillerie-Abteilung Kiautschou (MAK)

Kendzorra (auch: Kentzorra), Franz

Gefreiter, 2. Kompanie, III. Seebataillon (SB)

Kerl, Stefan



- Home
- ▶ Virtuelle Ausstellung
- ▶ Zeitschriften
- ▶ Materialien
- Lager
- Personen
- Schlagworte
- Schlagwortgruppen

Personen >

[\[Kurzkomentar\]](#) [\[Zeitschriften\]](#)

Kahle, Georg

Seesoldat 6. Kompanie III. Seebataillon (SB)

Kurzkomentar ▲

Verkaufte gemeinsam mit Schubert Essen oder Getränke im Lager Bandō (Kristall Palast) (s. T.T.B. vom 28.02.1919).

Biographische Daten von der Internet-Seite von Hans-Joachim Schmidt ▲

Kaufmann bei Firma Max Noeßler & Co., Shanghai/China

08.1914 Seesoldat des Landsturms in der 6. Kompanie des III. SB

11.1914 gefangen im Lager Matsuyama (Gef.-Nr. 2963, Heimatort: Hannover, Provinz Hannover) 04.1917 im Lager Bando (Heimatanschrift: Hannover-Waldhausen, Landwehrstr. 7)

12.1919 entlassen

Teilnahme an Treffen der Tsingtau-Kameradschaft um 1960; letzte Anschrift: Lüneburg, Hindenburgstr. 24 bzw. Rote Bleiche 3

- L15 ("Kahl"); AdrBa17; Fremdenf.Ba., S. 14; HAdrBa19; Seto-1.347,-2.409

Zeitschriften ▲

28.02.1919: Täglicher Telegramm-Dienst Bando

28. Februar 1919 (Bd. 6: 3. Jahrgang, 01. Januar - 31. Mai 1919)

24.11.1919: Täglicher Telegramm-Dienst Bando

24. November 1919, No. 213 (Bd. 8: 3. Jahrgang, 01. September - 29. November 1919)

14.11.1917: Täglicher Telegramm-Dienst Bando

14. November 1917 (Bd. 2: 1. September - 31. Dezember 1917)

07.12.1917: Täglicher Telegramm-Dienst Bando

7. [?] Dezember 1917 (Bd. 2: 1. September - 31. Dezember 1917)

06.08.1918: Täglicher Telegramm-Dienst Bando

6. August 1918 (Bd. 4: 3. Mai - 31. August 1918)



- ホーム
- バーチャル展覧会
- 雑誌
- 分類
- 収容所
- 人物
- キーワード
- 項目別キーワード

日刊電報通信 1917年12月7日[?]

内容 ▲

p. 1 [?]:

ニュースの概要・まとめ[ページが欠けているため不完全]

p. 2 [?]:

通知

クリスマスカード: 本日より酒保にて販売を開始します。注文したカードは、収容所印刷所で受け取ってください(収容所印刷所)。ドレンクハーンが、徳島造船所に旋盤を貸し出しました; テオドール・シュルツのみがこれを扱えます。ご希望の作業は可能性に応じて実行されます(デュムラー)。

提供: バイオリンの弦と青島のポストカード(カーレ、両替所)

バラック第7棟の部屋番号5と6は、パンの残りを持っている方をお願いします。それを取りに行くことをお許しください。

クリスマスカードの予約は、菓子屋リストにて承ります。

提供: 空気穴つきの小さな鉄製の火鉢; 折り襟つきの上着; 規定どおりの火鉢

落し物: バラック第7棟の前に小さな鍵がありました。

郵便集配所: 宛先のない、英語による北京の新聞が数部届きました。収容所印刷所まで取りに来てください。

これから、われわれによって印刷された劇やコンサートのプログラムの全てを購入したいと思う方は、収容所印刷所に記入してください。

データ ▲

年明: 1917年12月07日

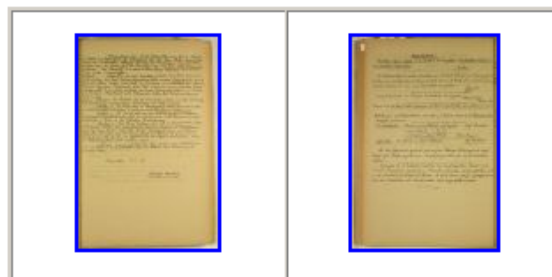
分類: 雑誌

ページ: 2

幅: 264 mm

高さ: 380 mm

写真 ▲





- ホーム
- バーチャル展覧会
- 雑誌
- 分類
- 収容所
- 人物
- キーワード**
- 項目別キーワード

キーワード

う

ウィリアム・シェークスピア『じゃじゃ馬ならし』(演劇): 7 件

ウィルヘルム 2 世の自由と生命を擁護するドイツ人男女による同盟 (収容所内の組織と連携): 3 件

ウィルヘルム・マイヤー＝フェルスター『アルト・ハイデルベルク』(演劇): 16 件

ウィーン・アンサンブル(パウル・エンゲル指揮) (オーケストラ): 15 件

運動会 (題材、漫画): 5 件

運動場 (インフラストラクチャー): 22 件

William Shakespeare: The Taming of the Shrew

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| さ | し | す | せ | そ |
| た | ち | つ | て | と |
| は | ひ | ふ | へ | ほ |
| ま | み | む | め | も |
| や | | ゆ | | よ |
| ら | り | る | れ | ろ |
| わ | を | ん | | |

Wilhelm Meyer-Förster: Alt-Heidelberg



- ホーム
- バーチャル展覧会
- 雑誌
- 分類
- 収容所
- 人物
- キーワード
- 項目別キーワード

項目別キーワード

DIJ図書室に所蔵されていない収容所刊行物

イラスト

インフラストラクチャー

衛生と健康法

演劇

演奏会

オーケストラ

会社

学問

講演・授業

コンテスト

財政

死

収容所外の組織と機構

収容所内の組織と機構

常設欄、帰還船

常設欄、ティ・バラック

常設の欄、日刊電報通信

食事

人物

スポーツ

スポーツ行事

その他のイベント

第一次世界大戦

theatre
performances



- ホーム
- バーチャル展覧会
- 雑誌
- 分類
- 収容所
- 人物
- キーワード
- 項目別キーワード

演劇

ウィリアム・シェークスピア『じゃじゃ馬ならし』

ウィルヘルム・マイヤー＝フェルスター『アルト・ハイデルベルク』

ヴィルヘルム・ヤコービ、カール・ラウフスラウフス『ベンシオン・シェラー』

エルンスト・フォン・ヴィルデンブルッフ『ラーベンシュタインの女』

演劇委員会

演劇活動一般

オスカー・ブルームエンタール、グスタフ・カーデルブルグ『白馬亭にて』

カール・レスラー『二頭のあざらし』

グスタフ・フライターク『記者たち』

ゲッツ・フォン・ベルリヒンゲンのタベ

ゴットホルト・エフライム・レッシング『ミンナ・フォン・バルンヘルム』

人形劇

人形劇『ファウスト博士』

ハインリッヒ・ブルトハウプト『活人画』

ハインリヒ・フォン・クライスト『こわれがめ』

ハンス・ザックス『人形劇 悪魔が老婆を妻にした』

ハンス・ザックスのタベ

フェルディナント・ボン『シャーロック・ホームズ』

フランツ・フォン・ポッチ『人形劇 野蛮人の中のカスベルル』

フリードリッヒ・シラー『群盗』

フリードリッヒ・シラー『ワレンシュタインの陣営』

ペドロ・カルデロン・デ・ラ・バルカ『人生は夢』

ヘンリック・イブセン『社会の柱石』

ヨハーン・ヴォルフガング・ゲーテ『エグモント』

ルードヴィヒ・トーマ『ロッテの誕生日』

William
Shakespeare:
The Taming
of the Shrew



- ホーム
- バーチャル展覧会
- 雑誌
- 分類
- 収容所
- 人物
- キーワード
- 項目別キーワード

キーワード >

ウィリアム・シェークスピア『じゃじゃ馬ならし』（演劇）

7 件

1918年06月15日: 日刊電報通信

1918年6月15日 (第4巻 1918年5月3日～1918年8月31日)

1918年06月17日: 日刊電報通信

1918年6月17日 (第4巻 1918年5月3日～1918年8月31日)

1918年06月20日: 日刊電報通信

1918年6月20日 (第4巻 1918年5月3日～1918年8月31日)

1918年06月22日: プログラム、劇

「じゃじゃ馬ならし」 喜劇 (5幕) ウィリアム・シェークスピア作

1918年06月24日: 日刊電報通信

1918年6月24日 (第4巻 1918年5月3日～1918年8月31日)

1918年06月30日: ディ・バラック。板東俘虜収容所新聞

第14 (40)号 1918年6月30日 (第2巻 1918年4月～1918年9月: 第1 (27)号 1918年3月31日～第27号 1918年9月29日)

1918年07月14日: ディ・バラック。板東俘虜収容所新聞

第16 (42)号 1918年7月14日 (第2巻 1918年4月～1918年9月: 第1 (27)号 1918年3月31日～第27号 1918年9月29日)



- ホーム
- バーチャル展覧会
- 雑誌
- 分類
- 収容所
- 人物
- キーワード
- 項目別キーワード

[内容] [データ] [参考の注意] [写真] [人名] [キーワード]

「じゃじゃ馬ならし」 喜劇 (5幕) ウィリアム・シェークスピア作

板東俘虜収容所 日本 [1918年6月22~25日]

内容 ▲

1918年6月25日に板東収容所にて、ヤーコプの演出により上演(後日2回上演)された(1918年7月14日「ディ・バラック」第2巻第16(42)号p. 439を参照)。プログラムには役名のみ記載されている。

データ ▲

年明: 1918年06月22日

分類: プログラム、劇

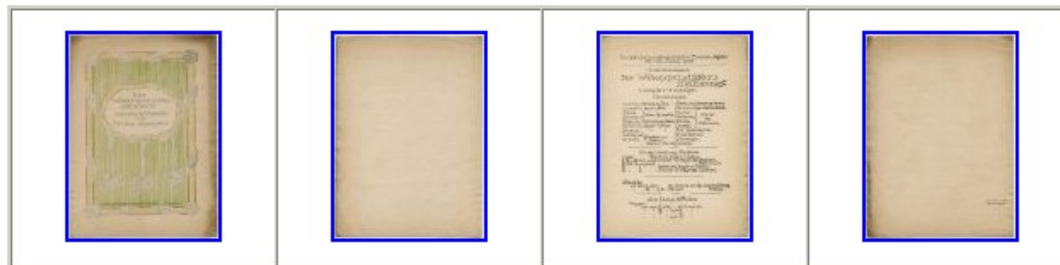
ページ: 4

幅: 199 mm

高さ: 274 mm

所蔵番号: E 2-07

写真 ▲



参考の注意 ▲

128: 第14 (40)号 1918年6月30日 .ディ・バラック。板東俘虜収容所新聞, 第2巻 1918年4月~1918年9月: 第1 (27)号 1918年3月31日~第27号 1918年9月29日

130: 第16 (42)号 1918年7月14日 .ディ・バラック。板東俘虜収容所新聞, 第2巻 1918年4月~1918年9月: 第1 (27)号 1918年3月31日~第27号 1918年9月29日

Der
Widerspenstigen
Zähmung.

Lustspiel in 5 Aufzügen
von
William Shakespeare.

Kriegsgefangenenlager Bando, Japan.

Kriegsgefangenenlager Bando, Japan
22.-25. Juni 1918

William Shakespeare.

Der Widerspenstigen
Zähmung.

Lustspiel in 5 Aufzügen

Personen:

| | |
|-------------------------------|---------------------------------|
| Vicentio, Edelmann aus Pisa. | Petruccio, Edelmann aus Verona. |
| Lucentio, dessen Sohn. | Grumio, dessen Kammerdiener. |
| Tranio } Diener des Lucentio. | Curtis, Diener |
| Biondello } " " " | Nathanael, des |
| Baptista, Edelmann aus Padua. | Philipp, Petruccio, |
| Katharina, dessen Tochter. | Joseph, " " |
| Bianca, " " " | Ein Schulmeister. |
| Hortensio, } Edelleute aus | Eine Witwe. |
| Gremio, } Padua. | Ein Schneider. |
| | Diener, Gerichtsdienner. |

Ort der Handlung: Padua.

I. Akt: Öffentliche Straße in Padua.
II, III, u. IV. Akt, 1. u. 2. Sc.: Zimmer im Hause des Baptista.
IV. Akt, 3. u. 4. Scene: Petruccio.
V. - 1. - : Öffentliche Straße in Padua.
V. - 2. - : Zimmer im Hause des Lucentio.

Musik:

vor dem I. Akt: Ouvertüre zur Op. „Raymond“ Althaus
" " IV. 3. Sc.: Menuett H. Paradis.

Anfang 6³⁰ Uhr.

Pausen:
vor dem II. Akt: 10 Minuten
" " IV. 3. Sc.: 15 "
" " V. 10 "
" " 2. Sc.: 10 "

Topics of the virtual exhibition:

- virtual tour of the Bandou camp (40 places with explanations and images)
- theatre
- food and drink
- exchange between Germans and Japanese
- exhibition of art and handicraft (March 1918)
- exhibition of art and handicraft in citations
- introduction (by Ruth Jäschke)
- economic situation and prices

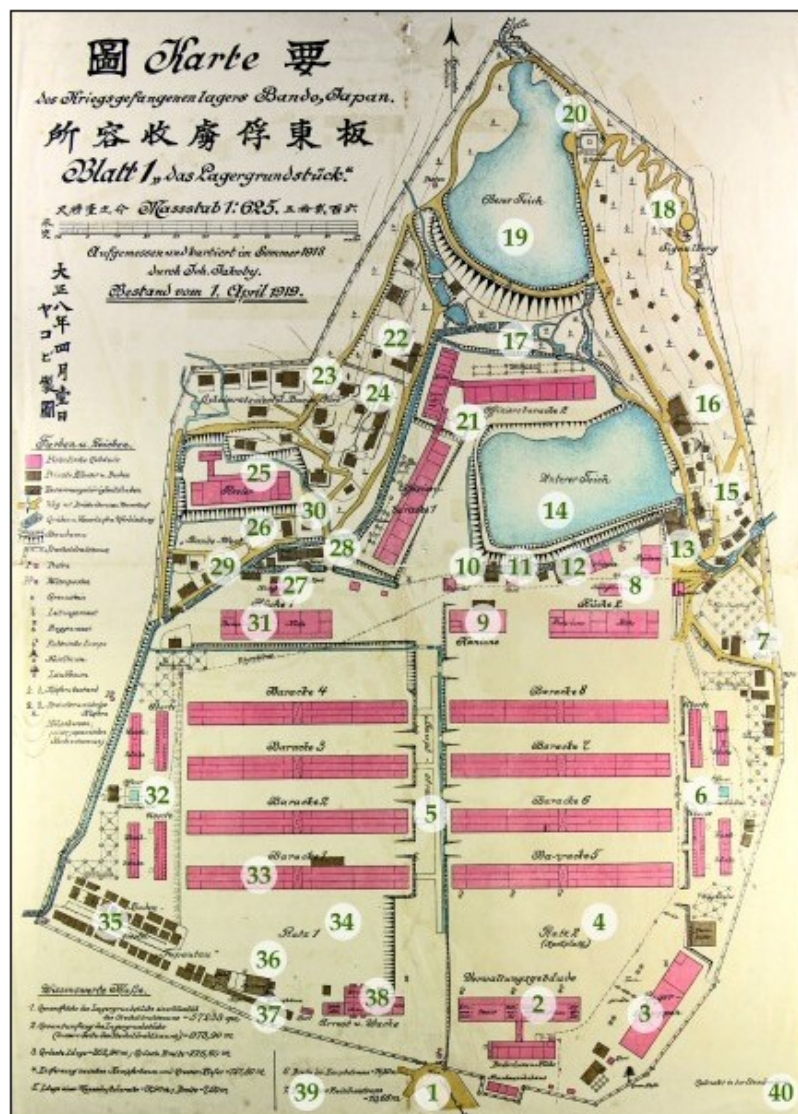


ホーム

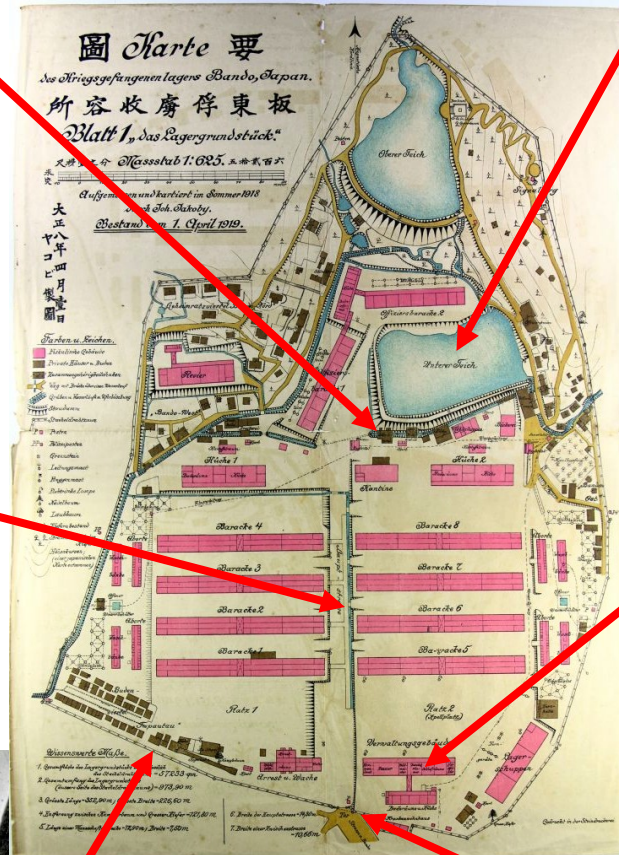
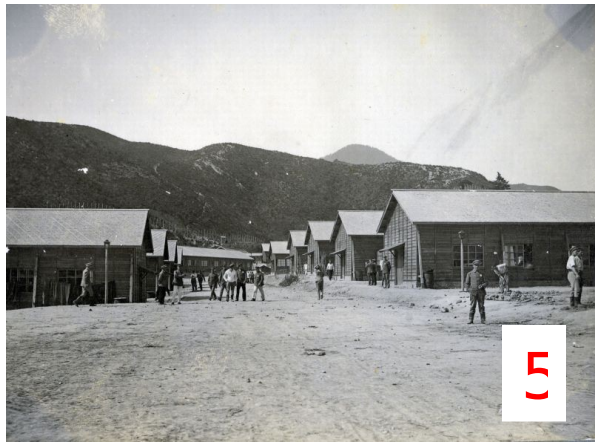
バーチャル展覧会

- 板東収容所のバーチャルツアー
- 演劇
- 食事
- 日本人とドイツ人の交流
- 美術工芸展覧会
- 収容所雑誌に見られる「美術工芸展覧会」
- 歴史的背景・解説
- 経済的な状況・価格
- ルードルフ・エーヴェルト氏
- 雑誌
- 分類
- 収容所
- 人物
- キーワード
- 項目別キーワード

バーチャル・ツアーのスタート: 収容所の概観図



- 正門
- 管理棟
- 収容所管理棟東側の建物
- 第2広場(点呼広場)
- 下士官兵用居住棟(バラック)
- バラックの東側の区域
- 別荘地区「板東東部」
- 第2厨房、穀類倉庫、収容所製パン所
- 酒保
- 収容所精肉所
- 温水浴場
- 料理屋台
- 水晶宮とビリヤード場
- 下の池(南池)
- 石版印刷所
- 音楽堂と士官用カジノ
- 植物園
- 「シグナルベルク」という監視小屋がある丘
- 上の池(北池)
- 慰霊碑
- 士官用居住第1・2号棟(士官用バラック)
- 士官用精肉所
- 枢密顧問官地区「板東北部」
- 造船所
- 医務室
- 収容所図書室、読書室
- 収容所印刷所、製本所
- 化学実験室
- 水濾過装置(バームチット式装置)
- ケーバーライン写真館
- 第1厨房
- 居住棟西側の区域
- バラック第1号棟
- 第1広場
- 「タパウタウ地区」
- 菓子屋ゲーバ
- ボウリング場と付属食堂
- 営舎と衛兵所



ホーム

▼ バーチャル展覧会

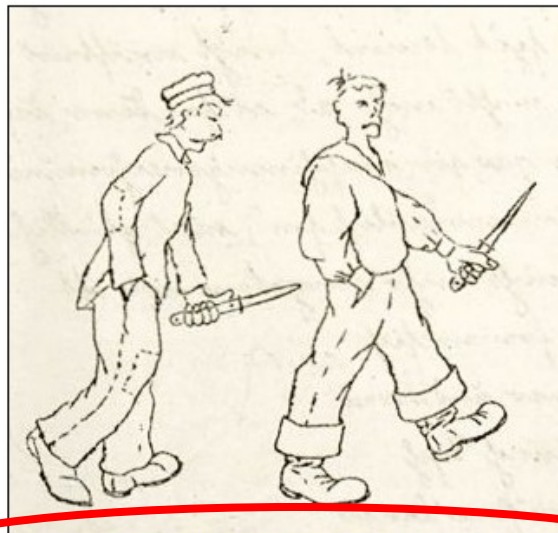
- ・板東収容所のバーチャルツアー
- ・演劇
- ・食事
- ・日本人とドイツ人の交流
- ・美術工芸展覧会
- ・収容所雑誌に見られる「美術工芸展覧会」
- ・歴史的背景・解説
- ・経済的な状況・価格
- ・ルードルフ・エーヴェルト氏
- ▶ 雑誌
- ▶ 分類
- ・収容所
- ・人物
- ・キーワード
- ・項目別キーワード

第2厨房 ▲



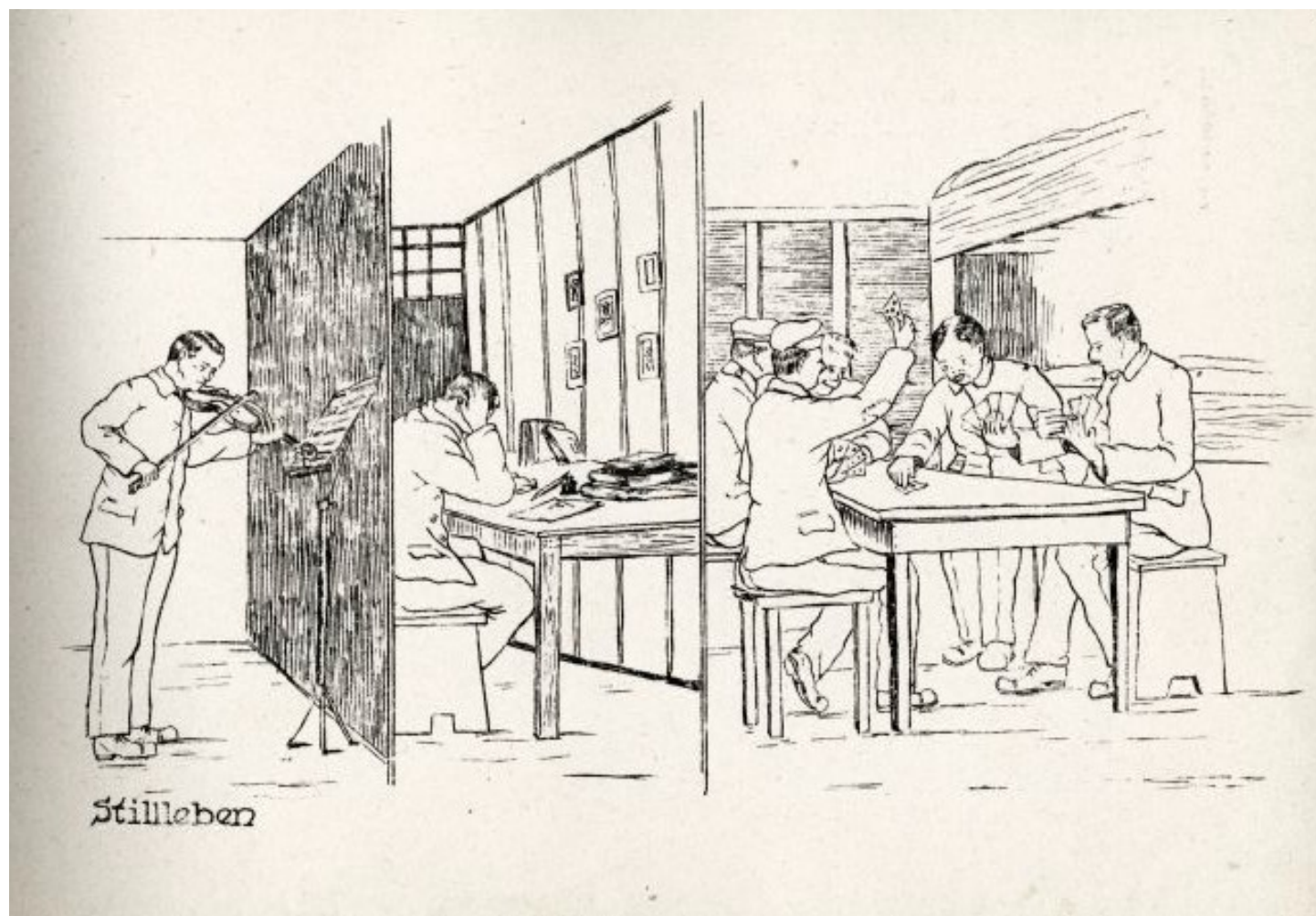
第2厨房と製パン所. DIJ図書館所蔵番号 H 57-1

第1厨房、第2厨房ともに下士官兵用の厨房であった。第2厨房を管理していたのは炊事下士官のF・フムビヒであった(1)。建物の中には本来の厨房のほかに浴室もあり、これは合唱団やオーケストラの練習場としても用いられた(2)。捕虜たちはこの厨房で収容所当局から提供された食材を用いて自分たちで調理をし、出来上がった食事はバラックで分配された。1919年になると規則がより緩やかなものとなって、櫛木海岸など海辺への日帰り遠足が数多く行われるようになったが、このとき第1厨房、第2厨房はともに焼きソーセージ、ウィナーソーセージ、ポテトサラダなどの予約注文を受け付け、目的地の海岸まで配達した(3)。



厨房へじゃがいもの皮むきをしに行く. Die Baracke Bd. 1, No. 23 vom 3. März 1918, S. 3=495

大量の食材を調理する準備をしなければならないことから、食事の調理には捕虜たちは全員で参加することになっていた。なかでもジャガイモの皮むきは収容所で人気のない仕事であった。『ディ・バラック』には以下のような記述が載っている。「例えば朝早く、コーヒーを飲んだ後で戦友たちが嫌そうな顔をし、抜き身のナイフを持って厨房へ向かっているのを見かけると、『短刀で何をしようというんだ？ 話せよ』などと聞いたりしなくても、初めから答えは分かるのだ。『じゃがいもの皮むきだよ、わかったか』と(4)。「われらの日々の仕事」と題するスケッチも、ジャガイモの皮むきの様子を伝えている。



Stilleben



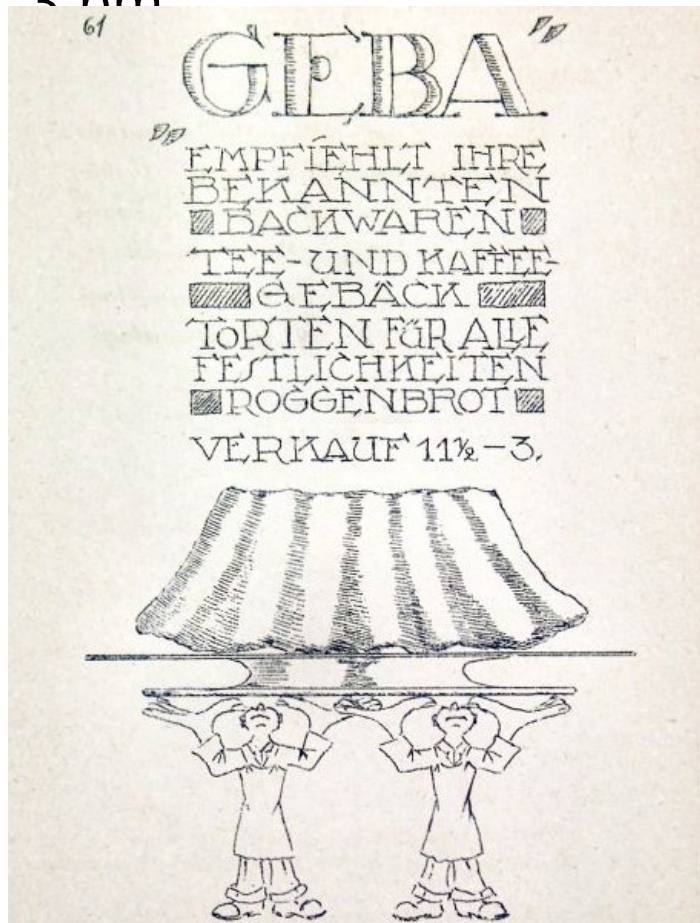
foundation of one of the barracks today (Doitsu mura kouen)



bowling alley

bakery „Geba“

advertisement: „Geba recommends her well-known bakery products. Tea-time cookies. Cream cakes for all occasions. Rye bread. Opening hours 11:30 am - 3 pm“



the delivery man called „Delicious“





the bakery „Doitsuken“ in
Tokushima



Thank you for your interest and good-bye!

<http://bando.dijtokyo.org>